

保護者様

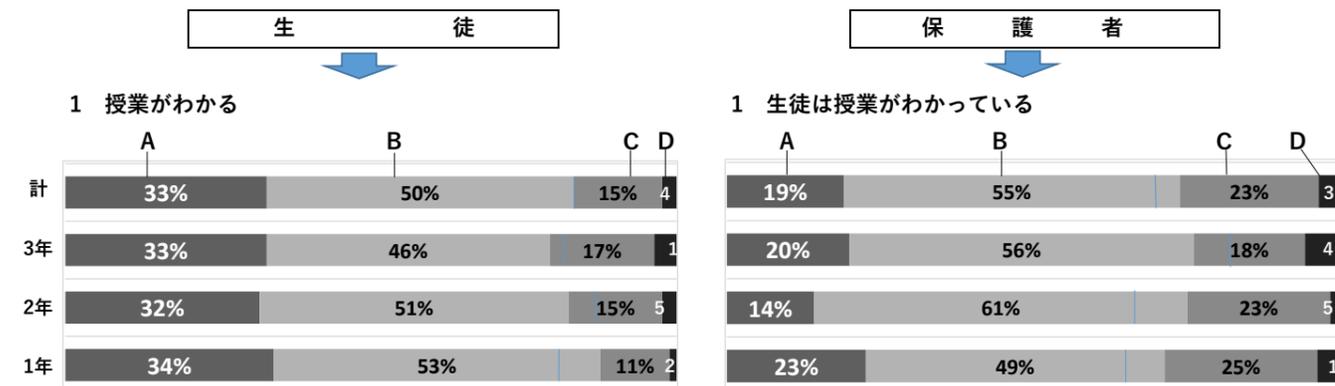
いわき市立湯本第一中学校長 小泉 俊夫

令和2年度学校評価アンケートの結果について

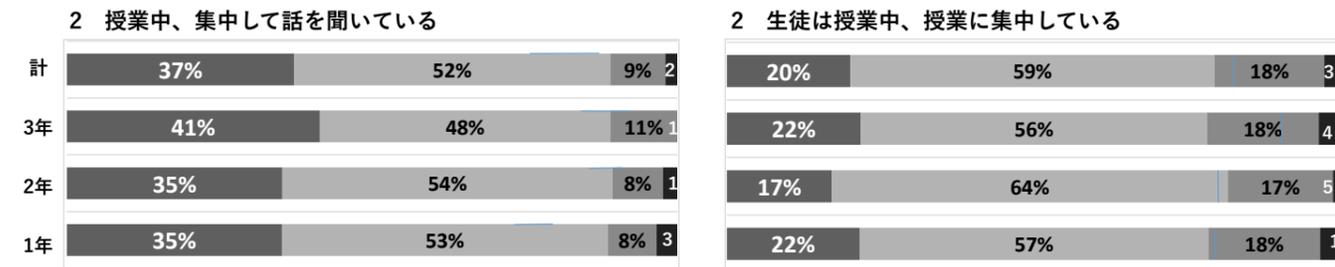
先日は、学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。
さて、アンケートの結果につきまして、以下のようにお知らせいたします。学校の教育活動を振り返り、今後の方針を考える際の大切なご意見として活用させていただきます。

グラフの見方

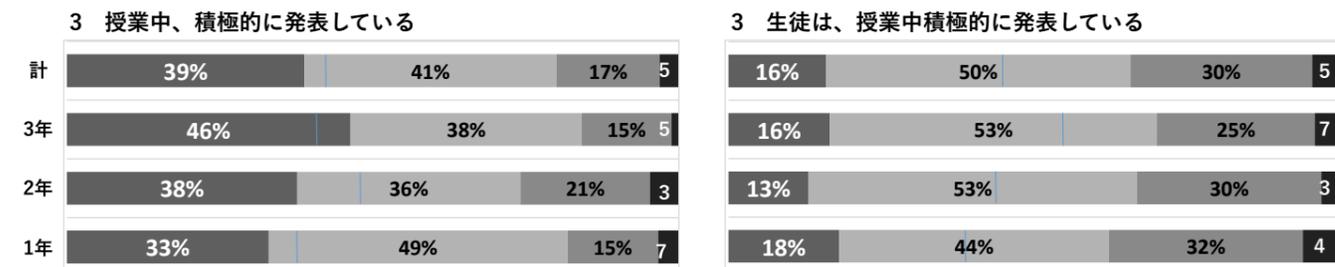
- (1) 左から、A：「そう思う」、B：「だいたいそう思う」、C：「あまり思わない」、D：「全く思わない」の%表示です。
- (2) 上段から、「計：学校全体」、「3年生」、「2年生」、「1年生」の順に表示しています。
- (3) 回答率は、生徒が94%、保護者が81%です。
- (4) A~Dのそれぞれについて小数第1位を四捨五入していること、無回答もあることから合計が100%にならない場合があります。



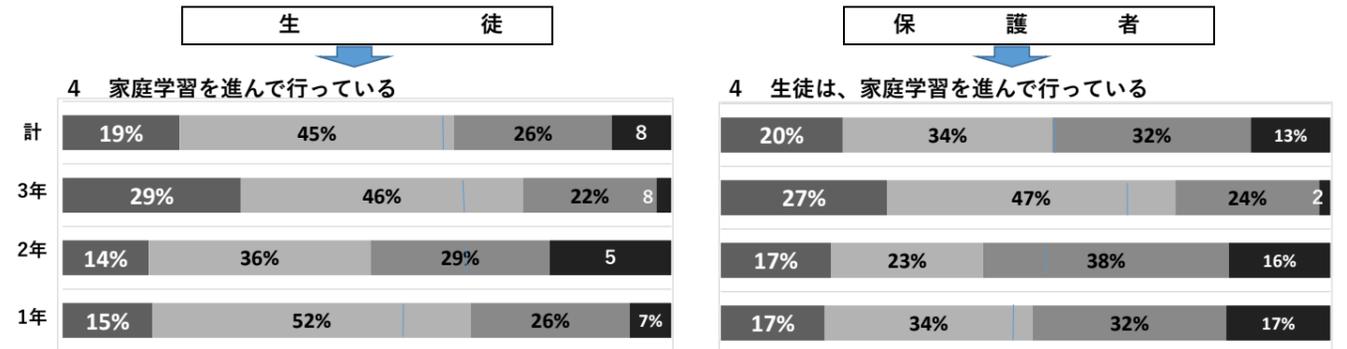
昨年同様、学校全体では生徒の回答率A+Bが80%を超えており、授業については理解しているという生徒が比較的多いですが、一方で、回答率C+Dの生徒が19%います。個別指導に力を入れるとともに、少人数指導の工夫やICT活用など、更なる授業改善を図りながら、わかる授業を展開していきたいと考えます。



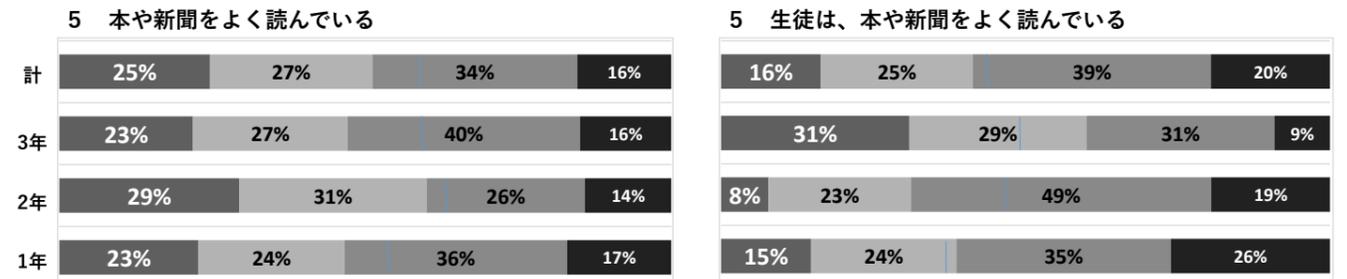
学校全体では、生徒の回答率A+Bが89%で、昨年より4%向上しています。保護者の回答率も2%向上していますが、生徒に比べて低くなっています。もっと授業に集中し、授業において学力を向上させて欲しいという期待が伺えます。学級活動等を通して「学ぶことの意味」を考えさせ、自覚を促すに、前述のような授業改善も進めたいと思います。



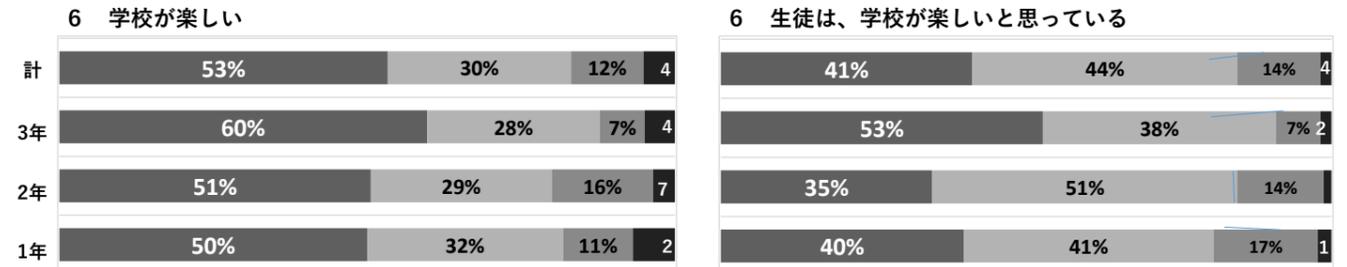
この項目についても、生徒の回答率A+Bが昨年より5%向上しています。一昨年から授業の形態を少人数の班編成にしてお互いに学び合う活動を継続して実践してきた成果が、3年目になり現れてきたと考えられます。今後、学習に対し主体的に取り組む意欲・態度を育む授業への改善をさらに進めていきたいと考えます。



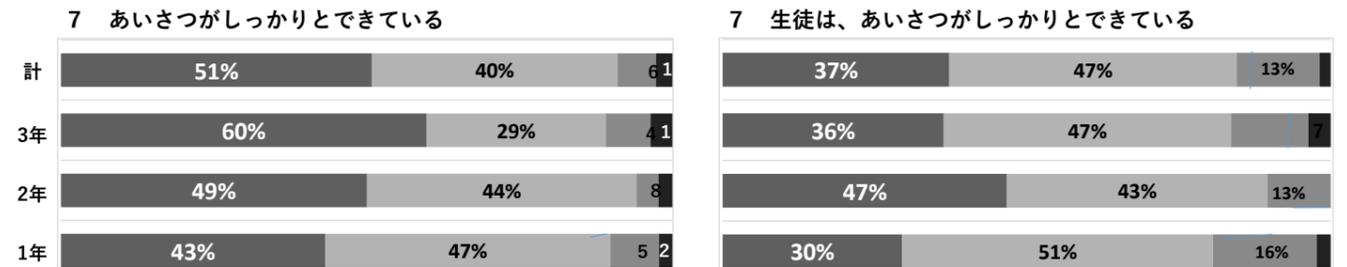
学校全体では、生徒のA+Bの回答率は、昨年より2%向上していますが、依然として60%台であり、低い数値となっています。3学年と他の学年に開きがあり、毎年受験期にならないと自覚が生まれない実態を表しています。学校で学習したことを定着又は向上させるのは家庭学習と考えます。家庭との連携を進めながら、家庭学習の指導を進めていきたいと思ひます。



学校全体の生徒の回答率A+Bが40%と昨年度同様低い結果でした。学校では、毎日朝の「読書タイム」が、ようやく定着してきたところです。学校司書による図書室の環境整備やおすすめの本の紹介なども行ってきました。コロナウイルス感染症対策で家庭で過ごす時間も増えていると思ひます。家庭でも読書の習慣を身に付けるようお声がけをお願いします。



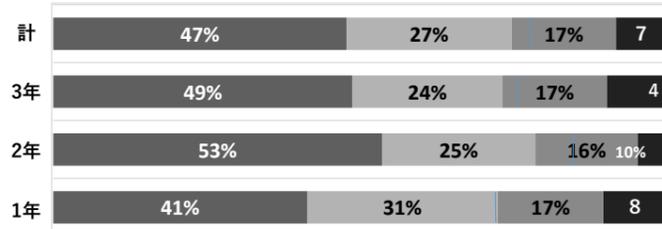
昨年同様、学校全体では、生徒、保護者ともに回答率A+Bが80%を超えており、多くの生徒が学校生活の中で楽しさを味わっているようです。コロナ感染症により、大切な行事が中止や規模縮小となってしまいましたが、そんな中で、生徒たちはひたむきにできることに一生懸命取り組んできました。困難に負けない姿に大きな成長を感じます。



今年度も学校全体では、生徒の回答率A+Bが90%を超えており、「あいさつ」についてしっかりと意識をもって実践している様子が見えます。特設駅伝部を始めとする部活動や日常の指導、家庭でのしつけなどから良い習慣を身に付けることができました。あいさつについては、「先手必勝」、「相手の目を見て」、「立ち止まって」ということを重点的に指導しています。

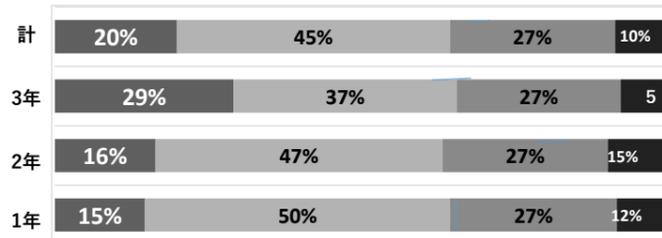
生徒

8 学校の様子を家の人によく話す



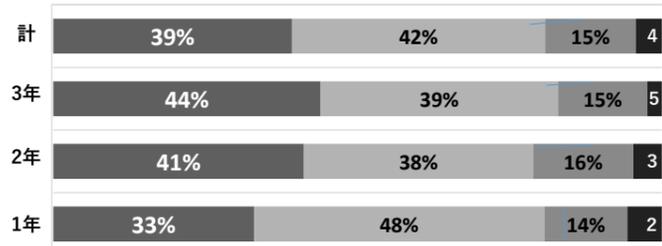
思春期の中学生は、家庭での会話が少なくなることも多いですが、本校においては、生徒、保護者の回答率A+Bは70%を超えており、家族とのコミュニケーションは良好と言えます。家庭が生徒にとって安心できることはとても大切なことです。今後も家庭と学校との連携を深め、生徒の安心感をさらに高めていきたいと考えます。

9 テレビやゲーム、ネットの時間を決めたり家族との約束を守っているなど、けじめのある生活を送っている（ゲーム、ネットをやらない場合は4で回答）



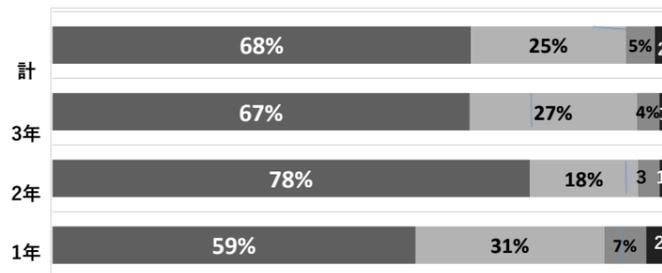
各学年生徒の回答率Cが20%を超えています。夜中までゲーム、ネットをして、朝からあくびをしたりして授業に集中できない生徒もいます。生活のリズムが乱れると体調に悪影響を及ぼすことがあります。また、少なくはなりませんが、メールやラインによる人間関係のトラブルが起きています。もう一度使い方について、約束ごとをご家庭で話し合ってもらいたいと考えます。

10 早起きや朝ご飯など、規則正しい生活を送っている



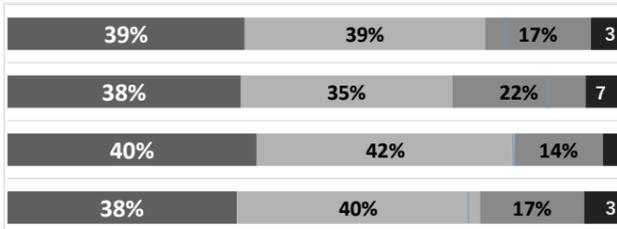
保護者の回答率A+Bは78%と低く、昨年より5%も下がっているのに対し、生徒は82%と昨年より逆に5%向上しています。生徒が考えるほど家庭生活で規則正しい生活が送れていない状況を示しています。受験勉強で乱れがちな生活習慣ですが、学年が上がるにつれ、好ましい結果となっています。1・2年生は、部活動と学習の両立が難しく、生活習慣が確立できないとも思われます。時間の使い方の工夫が必要です。

11 学校行事をがんばった

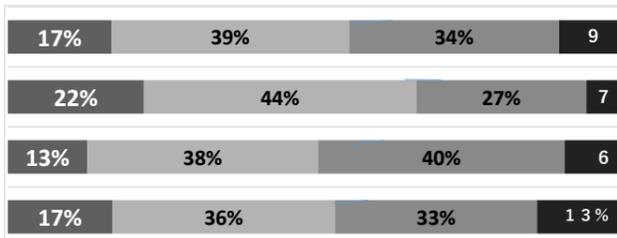


保護者

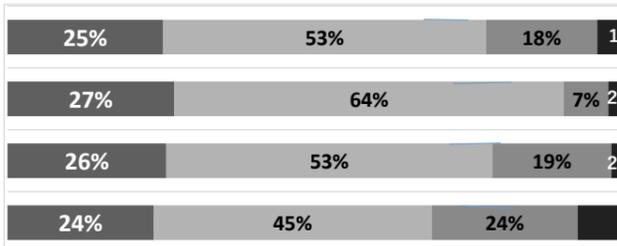
8 生徒は、学校の様子を家の人によく話す



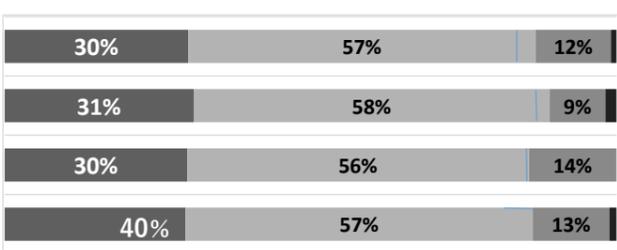
9 生徒は、テレビやゲーム、ネットに対して、時間を決めたり家族との約束を決めているなど、節度のある生活を送っている（ゲーム、ネットをやらない場合は4で回答）



10 生徒は、規則正しい生活を送っている

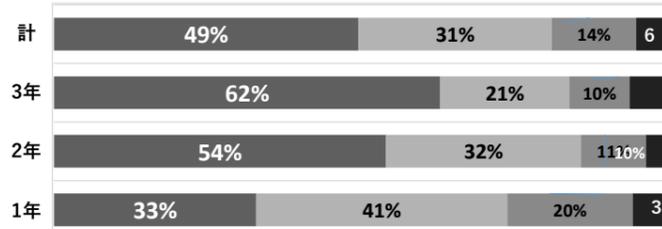


11 学校の授業、行事、部活動等の教育活動は、生徒の力を伸ばしている。

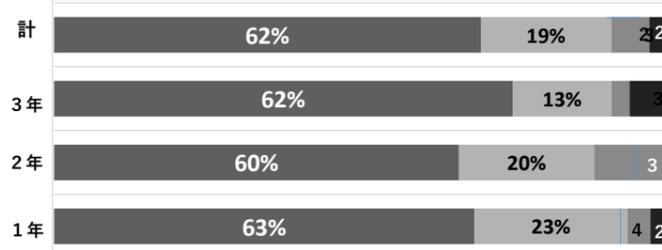


生徒

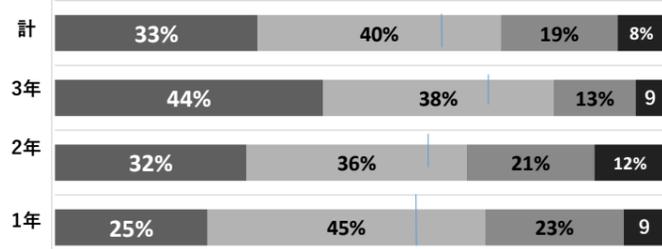
12 (生徒) 生徒会活動をがんばった



13 (生徒) 部活動をがんばった

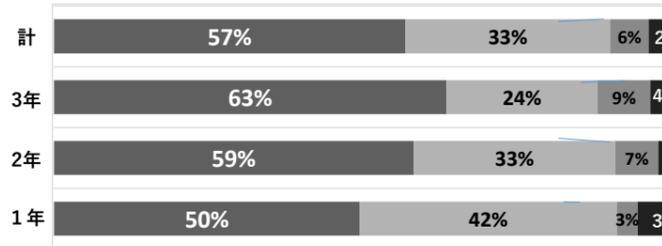


14 先生は困ったとき相談するなど頼りにしている



生徒の回答率A+Bは、昨年より4%向上しているものの、まだまだ向上させなければいけない項目と考えます。特にC、Dに回答している生徒の今後の対応については、教育相談や自主来談、チャンス相談だけでなく、日常の関わりを大切にして、信頼関係を深めていきたいと考えます。さらに、保護者の皆様にも連絡を密にしていかなければならないと考えます。

15 (生徒) 学級の一員として、学級を大切に思う



保護者のご意見から（全体に関わる主なものについて）

- ・部活について、親の送迎が難しい。力を伸ばしてとは思えない。
- ・部活の活動日や時間変更時は、早めに連絡して欲しい。
 - ⇒ 部活動担当で共通理解を図り、対応していきたいと思います。
- ・体育館の設備を整えて欲しい。
 - ⇒ 施設設備については、体育館だけでなく、教育委員会に改善をお願いしています。
- ・部活動の熱心な指導に感謝している。・体育祭もこういう状況の中見学することができ感激しました。

ご協力ありがとうございました。

学校評価アンケートの結果を真摯に受け止め、学校教育活動の向上に生かしていきたいと考えております。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

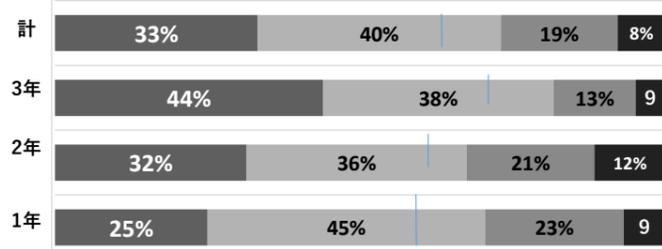
生徒11~13, 保護者11の項目から

「学校行事の頑張り」は、生徒の回答率A+Bは、行事の削減や規模縮小により、昨年より3%低下したが、今年も80%を超える結果となった。「生徒会活動」や「部活動」についても、活躍の場が減っているにもかかわらず、80%を超えている。

保護者の学校の教育活動への評価も、コロナ禍にあり、行事その他の変更が多かったにもかかわらず、回答率A+Bが、昨年より8%も向上している。学校教育に対し、ご理解ご協力をいただいたことに感謝し、更に教育の質の充実に力を入れていきたいと思いをします。

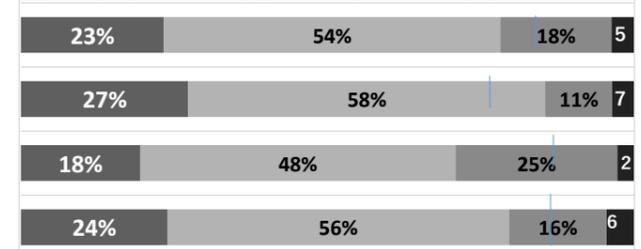
生徒

14 先生は困ったとき相談するなど頼りにしている



保護者

12 教師は、子供のことについて相談にのっている



学校全体では、生徒の回答率A+Bは90%に達し、学級の活動や雰囲気づくりを大切に、集団の一員としての存在感を感じているようです。学校生活の基本単位であり、学級生活で人との関わり方や思いやることの大切さなどたくさんの事を学びます。今後も学級生活の指導を通して、生徒の成長を促していきたいと考えます。